

2日 水曜

ルカ



9:18 さて、イエスがひとりで祈っておられたとき、弟子たちがいっしょにいた。イエスは彼らに尋ねて言われた。「群衆はわたしのことをだれだと言っていますか。」

9:19 彼らは、答えて言った。「パプテスマのヨハネだと言っています。ある者はエリヤだと言い、またほかの人々は、昔の預言者のひとりが生き返ったのだとも言っています。」

9:20 イエスは、彼らに言われた。「では、あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」ペテロが答えて言った。「神のキリストです。」

9:21 するとイエスは、このことをだれにも話さないようにと、彼らを戒めて命じられた。

9:22 そして言われた。「人の子は、必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちに捨てられ、殺され、そして三日目によみがえらねばならないのです。」

9:23 イエスは、みなの方に言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」

9:24 自分のいのちを救おうと思う者は、それを失い、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを救うのです。

9:25 人は、たとえ全世界を手に入れても、自分自身を失い、損じたら、何の得がありません。

9:26 もしだれでも、わたしとわたしのことを恥とと思うなら、人の子も、自分と父と聖なる御使いと、その栄光を帯びて来るときには、そのような人のことを恥とします。

9:27 しかし、わたしは真実をあなたがたに告

げます。ここに立っている人々の中には、神の国を見るまでは、決して死を味わわない者たちがいます。」

9:28 これらの教えがあってから八日ほどして、イエスは、ペテロとヨハネとヤコブとを連れて、祈るために、山に登られた。

9:29 祈っておられると、御顔の様子が変わり、御衣は白く光り輝いた。

9:30 しかも、ふたりの人がイエスと話し合っているのではないか。それはモーセとエリヤであって、

9:31 栄光のうちに現われて、イエスがエルサレムで遂げようとしておられるご最期についていっしょに話していたのである。

9:32 ペテロと仲間たちは、眠くてたまらなかつたが、はっきり目がさめると、イエスの栄光と、イエスといっしょに立っているふたりの人を見た。

9:33 それから、ふたりがイエスと別れようとしたとき、ペテロがイエスに言った。

「先生。ここにいることは、すばらしいことです。私たちが三つの幕屋を造ります。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」ペテロは何を言うべきかを知らなかつたのである。

9:34 彼がこう言っているうちに、雲がわき起こってその人々をおおった。彼らが雲に包まれると、弟子たちは恐ろしくなった。

9:35 すると雲の中から、「これは、わたしの愛する子、わたしの選んだ者である。彼の言うことを聞きなさい。」と言う声がした。

9:36 この声がしたとき、そこに見えたのはイエスだけであつた。彼らは沈黙を守り、その当時は、自分たちの見たこのことを

いっさい、だれにも話さなかつた。

イエス様について行く、信仰の生涯は苦しみもあります。しかしそれは命を得るすばらしい生涯です。自分の十字架を負いましょう。天国で主にほめられる者となりましょう。

イエス様はすばらしい栄光を表わしなさいました。いつまでもそこにいたい気持ちですが、地上では悪霊のしわざがありました。イエス様がこの世の人々の現実にご答えてくださる方であることに期待しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

